

# スーパーマーケット景況感調査(6月調査)

6月調査回答企業数306社(速報)

5月調査回答企業数311社(確報)

平成22年6月25日

オール日本スーパーマーケット協会  
日本スーパーマーケット協会  
(社) 日本セルフ・サービス協会

## スーパーマーケット景況感調査について

三協会会員企業の中核店を対象に売上動向、収益率動向、客単価動向、地域経済情勢の4項目について、3ヶ月前と比較した現状、及び今後2~3ヶ月の見通しについて、「良い」から「悪い」までの判断を5段階で調査します。

景況感指数(DI:Diffusion Index)が50以上なら景気の現状や見通しが改善したとみる企業が多く、50以下なら厳しい見方が多いということになります。

※DIの算出方法は、以下のとおりです。

現状または見通しに対する各回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出しています。

かなり増加(改善、上昇)+1.0・やや増加(改善、上昇)+0.75・変わらない+0.5

やや減少(悪化、低下)+0.25・かなり減少(悪化、低下)+0.0

スーパーマーケット統計調査に関するお問い合わせ  
tokei@jssa.or.jp

## スーパーマーケットDIの動向

### 1. 全体の動向

#### 売上DI

売上に対する現状判断DIは、前月より1.6ポイント低下し、45.6となった。

見通しDIは、0.4ポイント低下し、46.6であった。

#### 収益率DI

収益率に対する現状判断DIは、43.5となり、前月より1.0ポイント低下した。

見通しDIは、1.1ポイント低下し、45.9であった。

#### 客単価DI

客単価に対する現状判断DIは、40.6となり、前月より1.8ポイント低下した。

引き続き客単価の落ち込みが収益の圧迫要因となっている。見通しDIは、0.7ポイント低下し、43.1であった。

#### 地域の景気DI

地域の景気に対する現状判断DIは、41.5となり、前月より0.6ポイントの増加(改善)となった。

見通しDIは、0.8ポイント増加(改善)し、43.1であった。

### 1. 地域別の動向

#### 売上DI

現状判断DIは、6地域中4地域で悪化した。最も悪化したのは北海道・東北(-7.0)、次いで九州・沖縄(-3.5)であり、最も増加したのは関西(+1.5)であった。

見通しDIも、4地域で減少した。

#### 収益率DI

現状判断DIは、5地域で悪化した。最も悪化したのは関西(-4.0)、増加は関東(+1.8)のみであった。

見通しDIも、5地域で減少となった。

#### 客単価DI

現状判断DIは、4地域で低下した。最も低下したのは関東(-3.2)及び北海道・東北(-3.2)であった。

見通しDIは、5地域で低下となった。

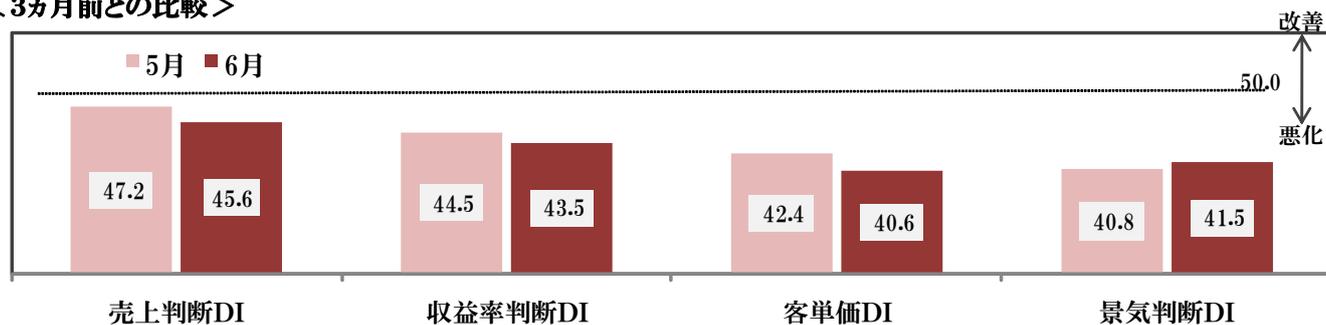
#### 地域の景気DI

現状判断DIは、改善と悪化が半々となった。最も改善したのは東海・北陸(+4.1)、最も悪化したのは中国・四国(-1.9)であった。

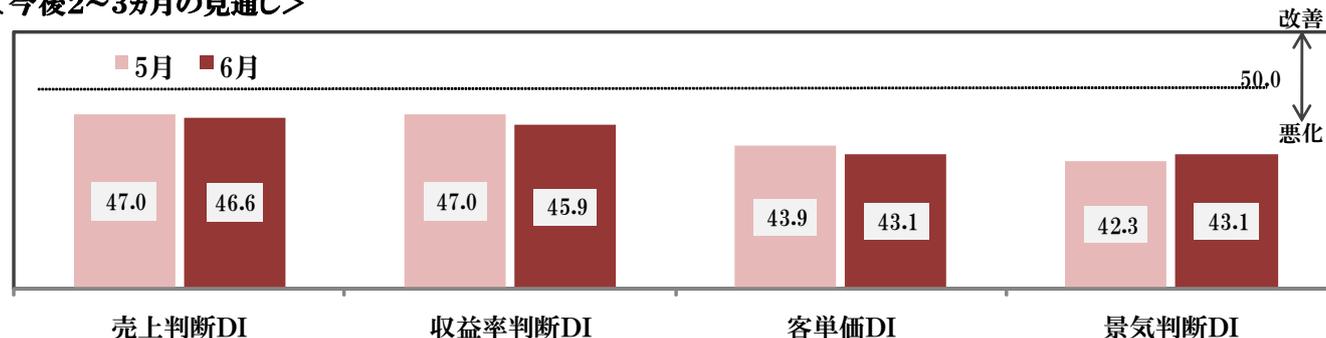
見通しDIは、4地域で改善、2地域で悪化となった。

### 1. 全体動向

#### <3ヵ月前との比較>

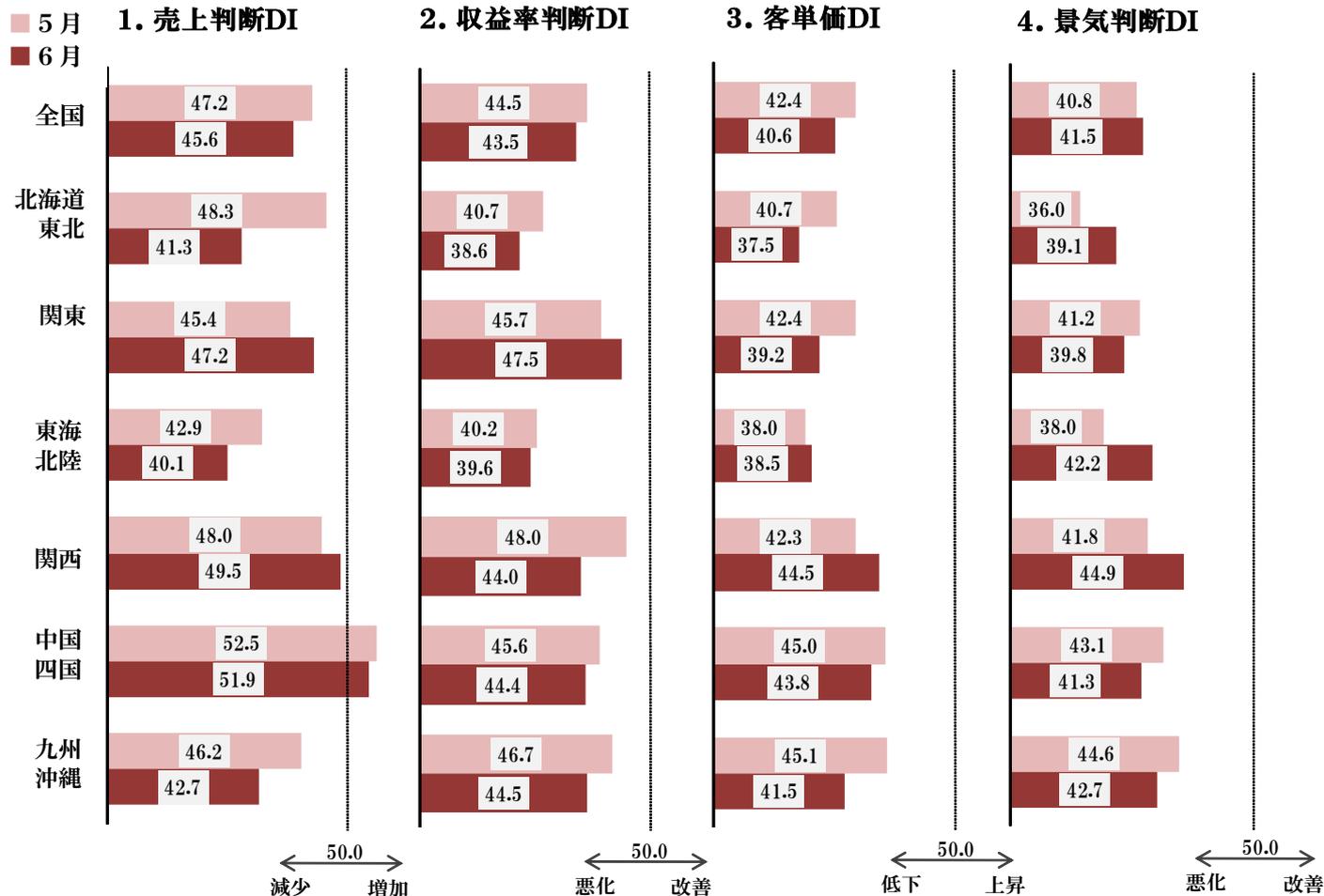


#### <今後2~3ヵ月の見通し>

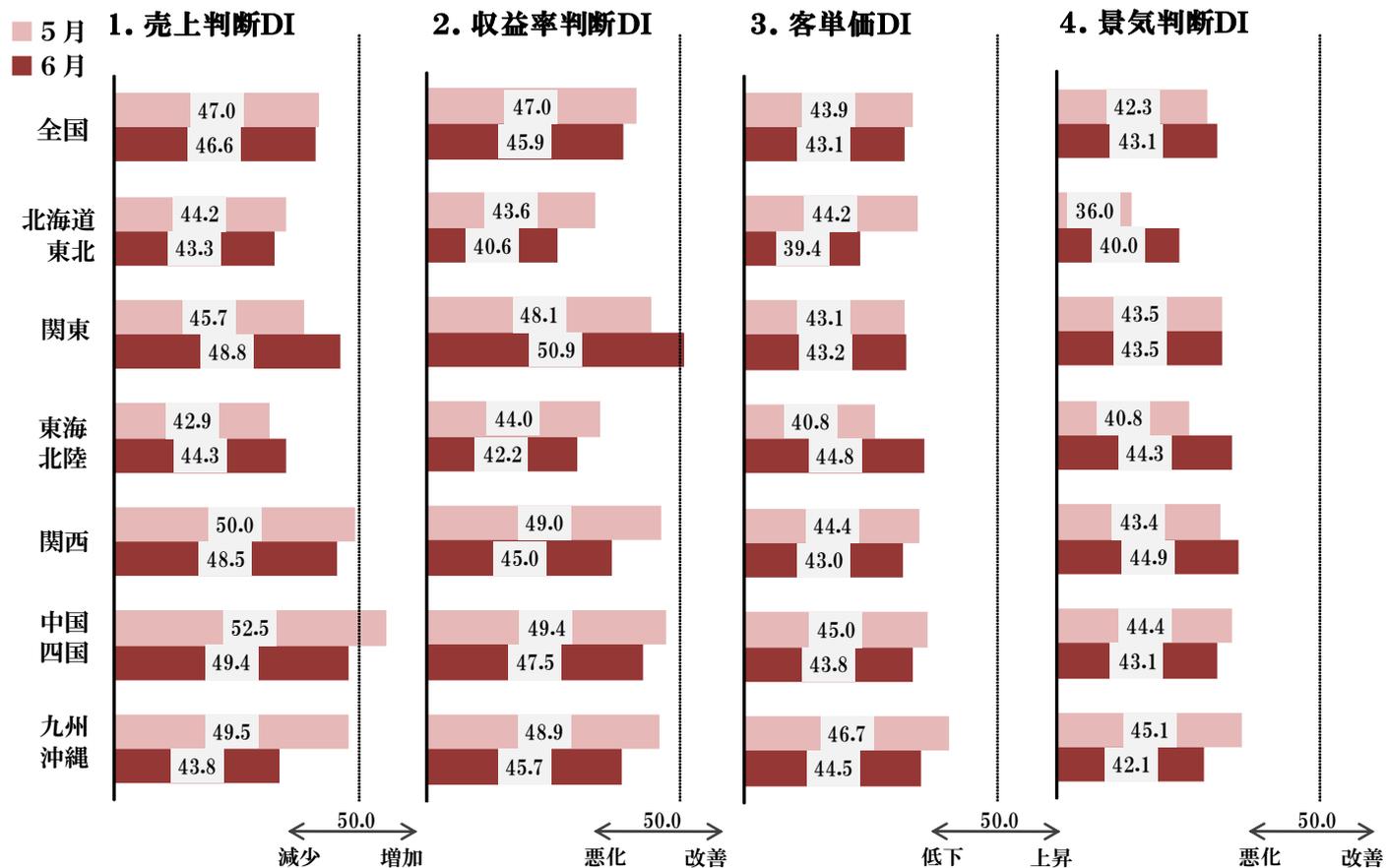


## 2. 地域別動向

<3ヵ月前との比較>



<今後2~3ヵ月の見通し>

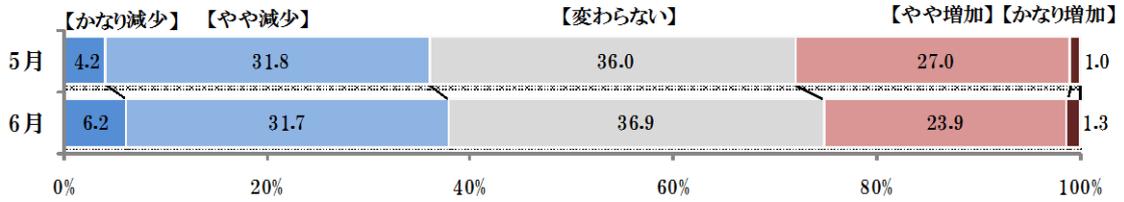


### 回答構成比

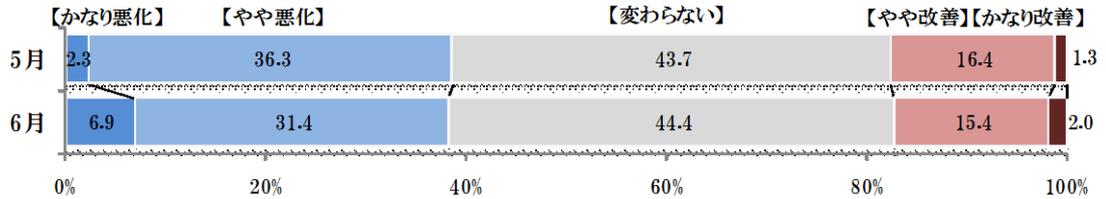
- ・売上 「減少」が37.9%(前月比+1.9%)、「増加」が25.2%(前月比-2.8%)となった。
- ・収益率 「悪化」が38.3%(前月比-0.3%)、「改善」が17.4%(前月比-0.3%)となった。
- ・客単価 「低下」が46.4%(前月比+2.4%)、「上昇」が12.1%(前月比-4.6%)となった。
- ・地域の景気 「悪化」が36.1%(前月比-4.4%)、「改善」が6.2%(前月比-2.5%)となった。

#### <3か月前との比較>

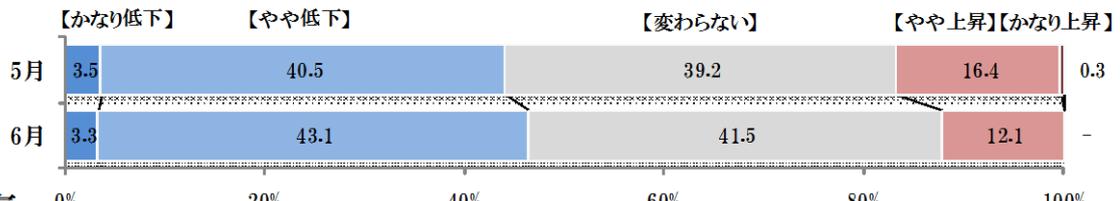
##### 売上



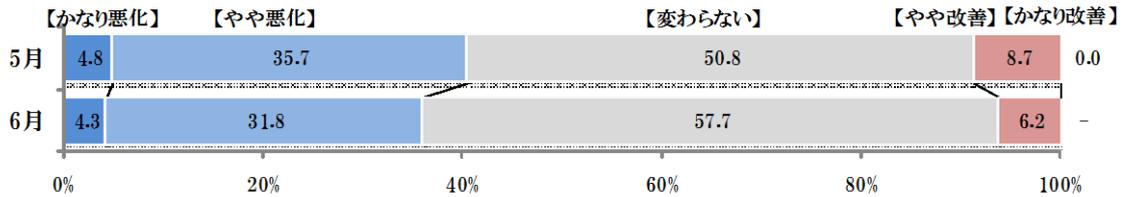
##### 収益率



##### 客単価

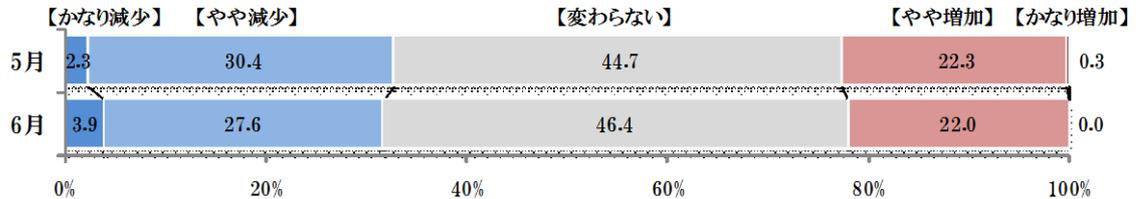


##### 地域の景気



#### <今後2~3か月の見通し>

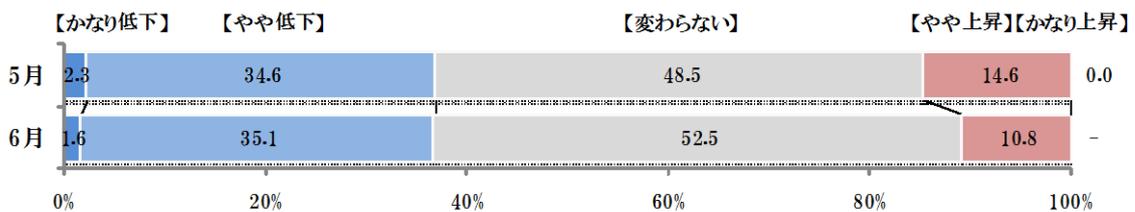
##### 売上



##### 収益率



##### 客単価



##### 地域の景気

